HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「楡蔭」96号
Issue Date	1996-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66424
Type	journal
File Information	yuin96.pdf



Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ISSN 0917-3684

Hokkaido University Library Bulletin No.96 July. 1996

楡蔭

Yuin 北海道大学附属図書館報

目　次

○附属図書館の新営に向けて
附属図書館長　吉田　宏…… 1
○新図書館情報サービスシステムについて(4) …… 4
○平成７年度図書館統計 …… 8
○学術情報センターセミナーについて
情報システム課目録情報掛　鵜澤和往…… 14
○お知らせ …… 16
○会議 …… 21
○研修・講習会等 …… 22
○人事往来 …… 23

附属図書館の新営に向けて

附属図書館長　吉田　宏

北大全体では，平成８年３月末現在で約313万冊の蔵書をかかえており，年々約10万冊づつ増えている。雑誌は，製本したまとまりごとに１冊と数えてのことである。この蔵書数に対して，附属図書館や学部図書室などにある蔵書スペースを全部合わせても約330万冊分しかない。ここ一・二年のうちに蔵書が溢れる計算になる。実際に，附属図書館では事務や閲覧用スペースに書架が並べられ，教官研究室は蔵書でいっぱいになり，学部図書室をはみ出した古い雑誌が地下の湿った物置に置かれているような状況にある。一日も早い附属図書館の新営が待たれる第一の理由はここにある。

大学図書館にある図書・雑誌などの図書資料は，大学の共有する知的財産であり，大学の教育研究環境の基盤である。図書館組織は大学における教育研究支援機構の中核である。教育研究の拡充をめざす北大改革を支えるためにも，附属図書館の充実が急がれる。

北大のような総合大学の図書館の場合には，図書館に求める役割が専門分野ごとに違う。少々大ざっぱではあるが，文系の場合には図書資料を収集し蔵書を構築すること自体が研究の性格をもっているのに対し，理系の場合にはできるだけ多くの学術雑誌に容易に目を通すことができる研究環境が必要で，少し古くなった図書資料には興味がない，という違いがある。しかし，これは大学図書館に求められる諸機能のうち研究支援の視点から見た場合の違いで，図書館に求められる他の機能，すなわち学習支援や資料保存の視点からは，文系と理系との間にあまり違いはない。

現在，313万冊の蔵書のうち約130万冊が附属図書館と北分館に配置され，残りは各学部・学科図書室や教官研究室に置かれている。図書館の将来構想を練る場合のもっとも重要な問題点は，北大の教育研究をより活性化するためにどのように図書を配置することが望ましいかである。研究の観点からは，文系については図書館機能と図書資料の配置を統合することが望ましいが，理系については各学部の図書館機能を有機的に繋ぎながら図書資料は適当な規模で分散配置することが現実的ではないかと考えている。一般的にいって，大学の図書館組織は中央図書館に統合される趨勢にあるが，大規模でかつ広い専門分野にまたがっている基幹総合大学では，中央図書館一館への集中には少し無理があるように思う。その場合でも，学習図書館機能や保存図書館機能は中央図書館に集中しなければなるまい。

理系の研究用図書資料をどのような規模で分散配置するかは議論のあるところである。現在，図書資料が学部図書室に集中しているところ，学科図書室にまで分散しているところ，各研究室に拡散してしまっているところなど，いろいろである。図書資料の配置を集中すればするほど，1）資料の重複購入が避けられ，2）資料の有効利用が図られ，3）広い範囲の資料が研究者の目に触れ研究の幅を広げるチャンスがあり，4)人員や施設の面でよりレベルの高いサービスを期待することができるメリットがあるが，反面，利用者はより遠くまで出かけて行かなければならないというデメリットが生ずる。学部図書室程度のまとまりがメリットとデメリットのバランスするところではないかと思うが，小規模部局の場合には数部局がまとまらないと上記4）が期待できない。

図書館の抱えている最大の問題点は，出版物の数の増大と価格の高騰である。財源の確保と有効利用のためにも図書資料配置の集中化と図書館機能の統合は避けられない。図書保管スペースが本1冊あたり約2千円かかるということから見ても，蔵書スペース確保の努力とその有効利用が大切で，本はできるだけたくさん手近にある方がよいと言ってはいられない状況である。また，平成8年度の全学の自然科学系における購入雑誌種類数総計は4,749で，そのうち14%は重複購入されているものである。基本的に重要な学術雑誌の重複購入はある程度やむを得ないとしても，重複率が平成7年度の10%から激増したことや購入雑誌の全種類数は逆に減っていることは，財源の有効利用の観点から問題無しとはしない。

情報化の波は図書館にも覆いかぶさってきている。大学附属図書館関係者の集会での話題は図書館の電子化に集中しているといってよい。いちがいに図書館電子化といっても，図書館サービスの電子化と図書資料の電子化とに分けて考えなければなるまい。

図書館の電子化は図書・雑誌の総合目録（書誌･所在情報）のデータベース化が基礎になる。北大では313万冊の蔵書のうち214万冊相当がすでにデータベース化されている。HINESを利用して研究室に居ながらにして北大の全蔵書の約70%を対象にオンライン検索ができるようになっている。これは，他大学に先駆けて昭和62年に開始して以来,附属図書館で営々と続けられてきた図書データ遡及入力のたまものである。また,CD化された各種の二次情報もオンライン検索できるようになっている。さらに，各大学の図書データ入力を基礎に作られた全国規模の学術情報システムと連携して，他大学図書館にある雑誌のコピーを依頼したり，図書の現物を借用する手続きも附属図書館あるいは学部図書室にある端末からオンラインでできる。図書館サービスの電子化によって，新着雑誌の目次を見るために図書館・室へ出かける必要はすでになくなっている。このような状況のもとで図書館サービスの充実を図るためには，サービス拠点を適正規模に集中化することが不可欠である。

図書資料そのものの電子化は，図書館サービ

スの電子化に比べて，著作権等の問題も絡み容易ではない。著作権問題をできるだけ安く解決して図書・雑誌の内容の全文をデータベース化し利用者に提供したいという図書館の意図が，知らず知らずのうちに，知的生産を奨励・促進する著作権制度の機能を骨抜きにすることがあってはならない。図書資料をネットワークで10人の人が見るようになったからといって，資料購入費が一人当たり1/10ですむというものではない。図書館の電子化は，コンピュータ関連施設もさることながら，図書資料を電子化したり電子化された図書資料を購入するためにも莫大な経費が必要となる。経費の増大に対応するためにも，附属図書館と学部図書室等の間で役割分担を明確にし，北大全体として効率的な図書館組織を築く必要がある。そして，その図書館組織の機能を統合するセンターとしての附属図書館の新営が必要なのである。

電子化のかけ声が強いからといって，質の高い図書資料を系統的に収集し，有用な図書資料と読書し思索する場を提供し，後世に必要な資料は大切に保存するという図書館の伝統的役割が減るわけではない。たとえば，本離れが心配される世代の学生に対する学習支援として，魅力ある図書を多数そろえ，快適な読書環境を用意し，いつでも利用できるような図書館が今後ますます必要となっている。われわれが図書館のあり方を論ずると，往々にして研究支援機能に目が集中しがちである。しかし，大学図書館というからには，学習図書館としての機能も忘れるわけにはいかない。

附属図書館がいちばん最近に増改築されたのは昭和59年のことである。それ以来，大学院重点化の実施や教養部体制から学部一貫教育体制への移行など北大は大きく変わってきた。北大の教育研究活動の拡充を支援すべく附属図書館の充実も緊急の課題となってきている。またこの時期に，大学の内外における情報ネットワークシステムの整備が格段に進み，これを有効に利用して図書館サービスの内容を向上させる必要にも迫られている。

幸いにして，平成7年度に三本木前館長のもとで，附属図書館将来構想検討小委員会での検討に基づき，将来構想の基本方針が図書館委員会で策定されている。それは，最適地を得て附属図書館を新築し，その場合に北分館機能を統合して単一館体制とするというものである。現在検討が進められている北大キャンパスのマスタープランが決まり，敷地の見通しが得られれば，早速にも附属図書館の新営に向けての努力を始めたい。そのためには，北大全体の図書館組織の在り方とそれに基づく新附属図書館の具体的プランニングについて全学的合意を得なければならない。

本年4月に思いがけずも図書館長を仰せつかった。短い任期ではあるが，附属図書館新営に向けての歩みを少しでも前へ進めたいと考えている。各方面のご理解とご支援とをお願いしたい。

楡　　蔭(北大図書館報)

新図書館情報サービスシステムについて

その4 ── WWW版OPAC及び北大OPAC検索全般についての留意点

I　WWW版OPAC

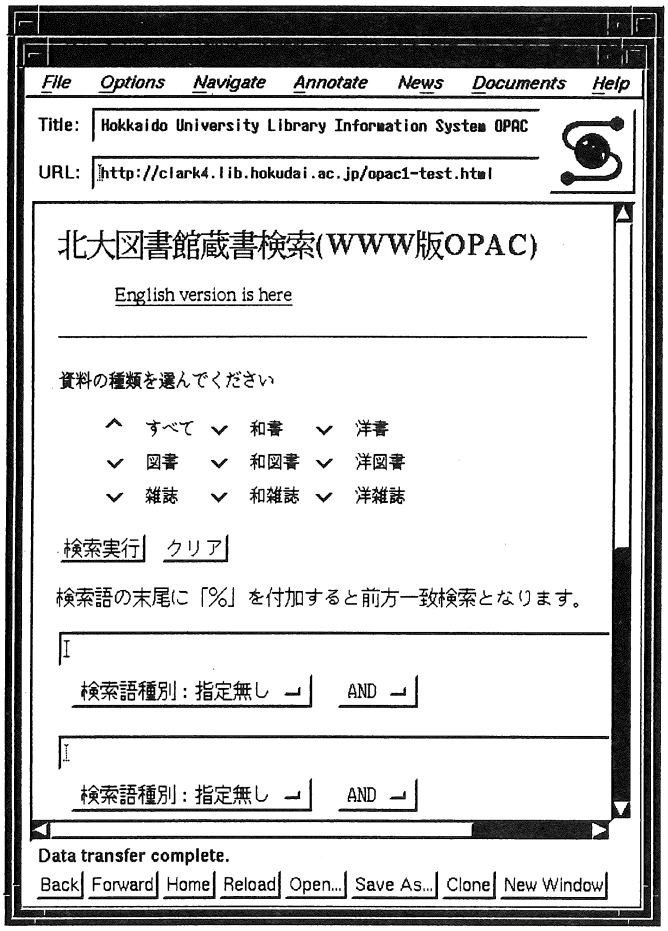
図1は「WWW版OPAC」と呼んでいるものの初期画面です。

このOPACは北大図書館ホームページで提供しており，[北大蔵書検索]の[WWW]をクリックするとこの画面が表れます。

学外からも利用できます。

北大図書館のホームページ
http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp

図1



閲覧室OPACと同様にコマンドを使わなくとも北大蔵書を検索できます。

1　WWW版OPAC操作の概略

1）検索語入力枠にフオーカスを当てて（カーソルを持って行ってクリックする）検索語をタイプします。

2）[検索実行]ボタンをクリックします。

3）ヒットしたものの簡略書誌一覧リストが表れます。→図2

4）特定の書誌の青色文字の部分をクリックすると詳細な書誌と所在情報が表示されます。→図3

クリック（指定）できる書誌の件数は1件です。

＊）日本語資料はなるべくカナで検索してください。

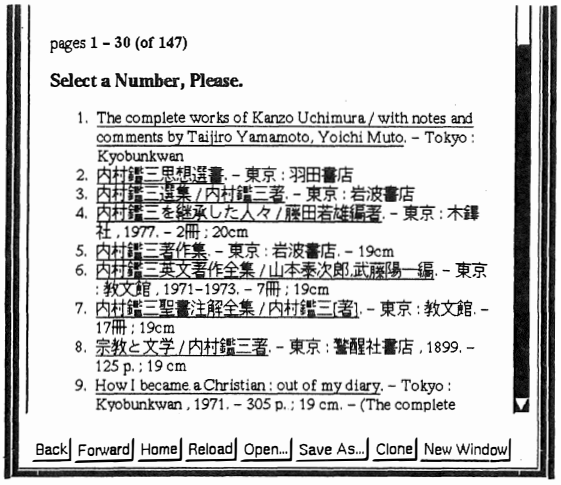
＊）あらかじめ検索対象を選択しておくと検索が早くなります。

＊）〝詳細書誌表示から簡略書誌一覧に戻る〟など，検索履歴を遡るときは，ブラウザの「前頁，後頁」表示機能を使うと早く見ることができます。

2　WWW 版 OPAC の検索結果表示

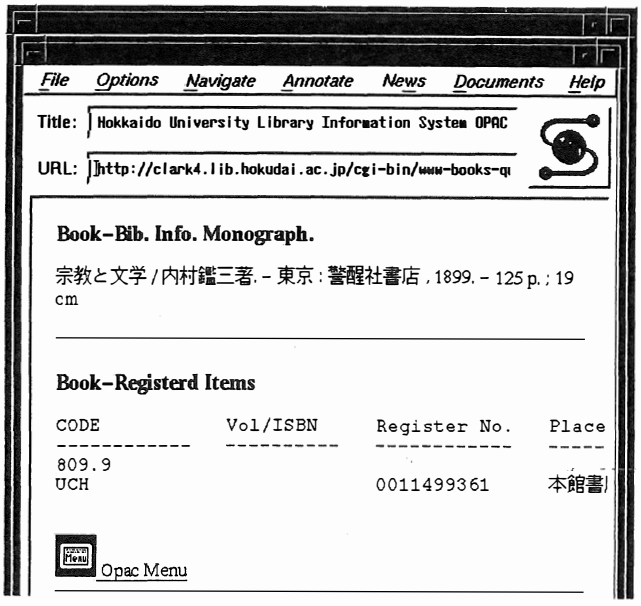
1）簡略書誌一覧（図２）

図 2



2）詳細書誌，所在情報表示（図３）

図 3



3　WWW 版 OPAC の特徴

1）検索ステップ（行）ごとの演算式を指定できます。（初期値は〝AND〟です）

2）検索対象となる検索語の種別は以下の５つです。

○書名・誌名　○著者等名　○書名中の語
○出版者・件名
（○は初期値「指定無し」のときの検索対象）

II　検索語の種類と形

北大目録データベースには，北大所蔵資料の書誌データが幾つかのインデックス（索引）を付与されて納められています。

北大 OPAC では，検索語として入力した文字列とインデックスの文字列とが一致したときに，その書誌件数を「ヒット件数」として表示します。検索のために用意されたインデックスの種類や形式について知っておくとより効率的な検索が可能になると思います。

1　インデックスの種類

それぞれの書誌について，以下の項目がインデック化されています。

①　書名・誌名（表記のまま）
②　書名・誌名のヨミ（和資料）
②　著者等名及び著者等名のヨミ
③　書名・誌名中の語（漢字では不可）
④　出版者
⑤　分類記号（WWW では不可）
⑥　件名
⑦　各種図書コード（WWW では不可）

以下のコードで検索することもできます。コード類で検索するときには，「検索語種別指定」でコードの種類を指定してから検索してください。

・ISBN 及び ISSN
世界中の書誌を特定するコードです。
・NC 書誌 ID：学術情報センター書誌番号
ILL 申し込みのときに添記してもらうことにしているものです。
・北大書誌 ID（北大書誌番号）
「参照データ」にヒットしたとき，この番号で検索しなおします。
・北大資料番号
北大蔵書の固有１冊を特定できます。
・NBN（日本図書館協会図書番号）
・LCCN（アメリカ LC 図書番号）
・NDLCN（国会図書館図書番号）

2　インデックスの長さ

1）最長で30バイトです。

2）漢字，カナ，キリル文字，ギリシャ文字は15文字（30バイト）以下です。

3）英数は30文字（30バイト）以下です。

→30バイト前後の長い検索語を入力するときは，最後に％（前方一致）をつけた方が良いと思います。ただし，1文字だけの前方一致検索はできません。

3　インデックスの文字種類

1）漢字，カナ(2バイト)，英数字，キリル文字で検索できます。

2）音標記号は省いてください。
ｅは，〝ｅ〟とタイプしてください。

3）中点，括弧等，ハイフン，長音記号，マイナス記号，文法上の記号は，「取る詰め」されてインデックス化されています。

4）大文字・小文字，ひらかな・カタカナはどちらを使っても同じ結果となります。

5）促音，拗音は正確にタイプしてください。
オートメーション→○
オトメション→○
おとめしょん→○
オトメシヨン→×

III　北大OPAC検索全般についての留意点

1　書名・誌名による検索について

[表記とヨミ]

和資料はフルタイトルの表記（記載のまま）とヨミ（読みカナ）で検索できます。

洋資料はヨミは有りません。

[ヨミについて]

①　ヨミは分かちなし，字詰めです。
「内村鑑三と基督教」のヨミは，〝ウチムラカンゾウトキリストキョ〟となります。

②　発音の通りが原則です。
へ→エ　は→ワ　を→オ
二人→フタリ
二人三脚→ニニンサンキャク
二百十日→ニヒャクトオカ
日本→ニホン，私→ワタクシ

③　ローマ字，アラビア数字等は表記のままが原則です。
超LSI→チョウLSI
PC 98入門→PC 98ニュウモン

④　数字のヨミ
アラビア数字は表記のまま，漢数字はヨミが原則ですが例外があります。
両方で検索してみてください。
20世紀→20セイキ
平成8年度→ヘイセイ8ネンド
四十七士→シジュウシチシ
二十世紀→ニジュッセイキ
ただし，
平成八年度→ヘイセイ8ネンド
第二百十回→ダイ210カイ

[洋資料の書名]

①　正書法により分かち書きされています。

②　冒頭の冠詞は除かれています。
「The Journal of Physics and Chemisrty」を検索するときは，
〝journal of physics and chemistry〟
とタイプしてください。

2　著者等名による検索について

1）〝姓△名〟の形が原則です。

○日本人等：著者「内村鑑三」は，以下の検索語でヒットします。
〝内村　鑑三〟〝ウチムラ　カンゾウ〟
〝内村〟，〝鑑三〟
〝ウチムラ〟，〝カンゾウ〟

○西洋人等：著者「John F. Kennedy」は以下の検索語でヒットします。
“KENNEDY JOHN F”
“JOHN”, “F”, “KENNEDY”

3　書名中の語による検索について

1）テ，ニ，ヲ，ハや，OF，AND，ON 等では検索できません。

2）漢字語句を漢字形では検索できません。

例「日本文学における漱石」

以下の3つでいずれもヒットします。

① 〝日本文学における漱石〟

② 〝ニホンブンガクニオケルソウセキ〟

③ 〝ニホン〟〝ブンガク〟〝ソウセキ〟の論理積

→〝日本〟や〝文学〟や〝漱石〟の漢字形で検索しても，この本の書誌にはヒットしません。

3）書名中の人名は表記のままが原則です。

A：日本語著作「ケネディとその時代」

B：翻訳書「ケネディの道」

① 〝ケネディ〟で検索すると，A，Bともに「書名中の語」に当たってヒットします。

② 〝Kennedy〟で検索すると，Bだけが原書名の「書名中の語」に当たってヒットします。

4　出版者による検索について

日本等：〝文芸春秋新社〟（表記のまま）

→ヨミでは検索できません。

外国等：

“UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS”

→単語単位では検索できません。

5　件名による検索について

1）件名で検索するときは，［検索語種別指定］で「件名」を指定してから検索するか，［件名表　f・7］（閲覧室 OPAC のみ）から検索してください。

検索語種別を特定しないことにしている［無指定］でも，［件名］は検索対象となっていません。

2）件名が付与されていないデータがあります（和書の 70%，洋書の 60%には付与されています。）。また，和書の件名（漢字）には，ヨミがないものもあります。

3）学術情報センターの図書目録データベースに付与されている件名を取り込んだものですが，現在「主件名」と「細目」の切り出しに不整合があります（著者名に生没年が付くなど）。

6　分類による検索について

1）分類で検索するときも，「検索語種別指定］で「分類」を指定してから検索します。

2）分類記号を知るには

分類で検索するには，分類記号をあらかじめ知っておく必要があります。

各図書室等には大抵「分類表」が備えてありますのでこれで調べるのが確実ですが，

閲覧室以外からの検索しているときは，書名中の語や件名を手かがかりに典型的な資料を検索して，それに与えられている分類記号を知るのが簡便な方法です。

3）ひとつの分類記号に該当する本はたくさんありますのでヒット件数が多くなるのことがあります。そのときは他の検索（ステップ）と論理積で絞り込んでください。

次回は「コマンド OPAC」を紹介します。

なお，前稿（「楡蔭」No.95　p.16）に間違った記述がありました。お詫びして訂正いたします。

1．「4）検索一覧インデックスからの検索」

この機能は〝件名表からの検索〟に代わりました。（閲覧室 OPAC 初期画面の［件名表　f・7］）

2．「3．検索語の入力の仕方」1）大文字，小文字の区別は不要です。」の例として，〝ツ〟＝〝ツ〟等を挙げましたが，本稿Ⅱ－3，2）に記載したとおり促音，拗音は正確にタイプしてください。

平成7年度　図書館統計

部局別蔵書冊数

区分 / 部局	和	洋	合計	備考
附属図書館	580,262	470,809	1,051,071	
法学部	(78,262)	(139,473)	(217,735)	
経済学部	(96,792)	(63,458)	(160,250)	
北分館	148,716	91,165	239,881	
言語文化部	(23,928)	(66,696)	(90,624)	
高等教育機能開発総合センター	(466)	(95)	(561)	
文学部	113,955	156,737	270,692	
教育学部	86,631	31,799	118,430	
経済学部	4,751	2,507	7,258	
大学院理学研究科	48,923	156,529	205,452	情報処理教育センター，実験生物センター含む
医学部	69,082	99,198	168,280	附属病院，アイソトープ総合センター含む
歯学部	18,845	18,307	37,152	附属病院含む
薬学部	6,317	17,382	23,699	機器分析センター含む
工学部	180,758	150,381	331,139	量子界面エレクトロニクス研究センター，エネルギー先端工学研究センター含む
農学部	211,665	118,905	330,570	附属農場，附属演習林含む
大学院獣医学研究科	11,521	23,023	34,544	
水産学部	79,725	51,444	131,169	
教養部	2,952	958	3,910	
大学院地球環境科学研究科	10,578	6,435	17,013	
低温科学研究所	8,217	18,910	27,127	
電子科学研究所	6,313	19,938	26,251	
免疫科学研究所	1,494	7,867	9,361	
触媒科学研究センター	3,371	12,173	15,544	
スラブ研究センター	1,069	46,673	47,742	
大型計算機センター	963	2,321	3,284	
事務局	1,824	156	1,980	留学生センター，保健管理センター含む
医療技術短期大学部	25,829	3,897	29,726	
計	1,623,761	1,507,514	3,131,275	

(　) は統合等による附属図書館又は北分館所蔵分で内数

部局別受入冊数

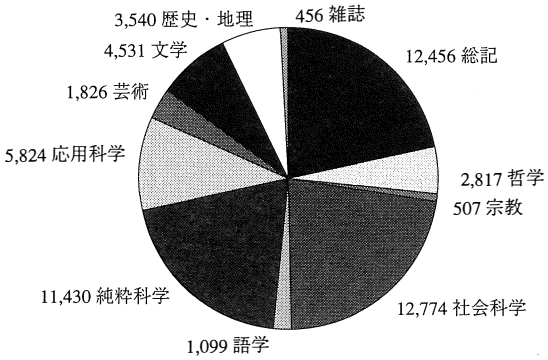
区分 / 部局	図書・受入冊数							雑誌受入種類数						
	和書			洋書			合計	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	その他	購入	寄贈	その他		購入	寄贈	その他	購入	寄贈	その他	
附属図書館	5,419	2,224	1,793	4,435	1,005	3,778	18,654	373	1,959	2	409	403	0	3,146
法学部	(1,521)	(289)	(334)	(2,713)	(166)	(633)	(5,656)	(169)	(361)	0	(351)	(60)	0	(941)
経済学部	(1,147)	(62)	(848)	(1,069)	(1)	(107)	(3,234)	−	−	−	−	−	−	−
北分館	4,264	95	61	1,768	456	258	6,902	235	311	0	213	12	0	771
言語文化部	(1,325)	(0)	(61)	(1,556)	(86)	(125)	(3,153)	(63)	(42)	0	(171)	(2)	0	(228)
高等教育機能開発総合センター	(465)	(1)	(0)	(91)	(4)	(0)	(561)	(16)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(17)
文学部	3,124	52	752	6,557	344	731	11,560	339	863	0	591	30	0	1,823
教育学部	2,635	29	470	484	84	433	4,135	574	575	4	201	9	1	1,364
経済学部	710	0	0	350	0	0	1,060	148	552	1	275	42	1	1,019
大学院理学研究科	266	5	12	1,095	205	1,366	2,949	155	266	2	743	312	4	1,482
医学部	341	42	518	322	36	1,593	2,852	275	685	0	727	133	3	1,823
歯学部	535	30	267	86	14	524	1,456	144	181	4	204	49	0	582
薬学部	58	1	41	51	11	449	611	39	53	0	125	5	0	222
工学部	628	20	1,375	815	2	1,146	3,986	328	579	3	819	93	0	1,822
農学部	1,405	115	1,705	476	25	1,207	4,933	318	1,054	5	593	336	0	2,306
大学院獣医学研究科	145	7	107	144	0	343	746	49	62	0	120	81	1	313
水産学部	326	44	401	68	64	861	1,764	185	750	3	253	490	1	1,682
大学院地球環境科学研究科	264	6	143	158	3	200	774	57	86	0	135	38	0	316
低温科学研究所	82	20	212	56	7	394	771	28	267	1	100	226	0	622
電子科学研究所	120	2	22	52	19	457	672	51	50	2	114	5	0	222
免疫科学研究所	5	0	0	19	0	231	255	14	102	0	49	0	1	166
触媒科学研究センター	1	0	0	111	2	102	216	17	1	0	42	12	0	72
スラブ研究センター	206	4	0	2,460	3,249	413	6,332	11	28	0	429	93	0	561
大型計算機センター	0	0	0	139	0	0	139	36	33	2	52	0	0	123
医療技術短期大学部	1,074	37	174	84	0	46	1,415	147	74	2	66	2	0	291
計	21,608	2,733	8,053	19,730	5,526	14,532	72,182	3,523	8,531	31	6,260	2,371	12	20,728

注　1.（　）は統合等による附属図書館又は北分館所蔵分で内数。
　　2.「その他」は雑誌を製本して受け入れたもの，及び管理換で増となったもの。

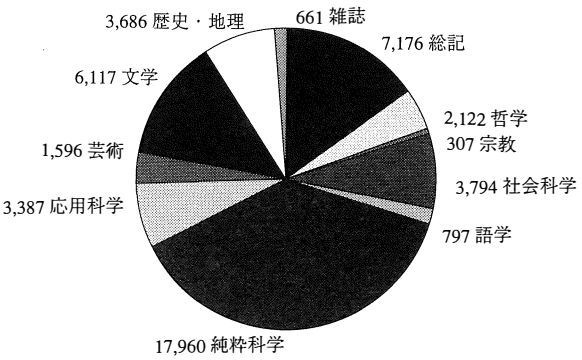
附属図書館利用統計

本　　館	(開館277日)			(開館235日)		北 分 館	(開館226日)	
	開架閲覧室	書　　庫	語学演習室	参考閲覧室	北方資料室		開架閲覧室	語学演習室
	貸出冊数	貸出冊数	入室者数	入室者数			貸出冊数	利用者数
学　　生	41,296	5,656	213				43,014	636
大学院生	10,506	19,228					2,843	
教　　官	1,258	8,792	89	43,022	4,017		552	133
職　　員	2,463	1,333					1,023	
学外利用者	1,737	879	8				81	22
合　　計	57,260	35,888	310	43,022	4,017		47,603	791

分野別貸出数（本館）



分野別貸出数（北分館）



外部 DB システム利用回数

	利用回数
Medline	35,333（回）
Biosis	4,918
Current Contents	12,456

外部 DB システム登録人数

	平成 5 年	平成 6 年	平成 7 年
Medline	95	109	168
Biosis			59
Current Contents	86	90	183

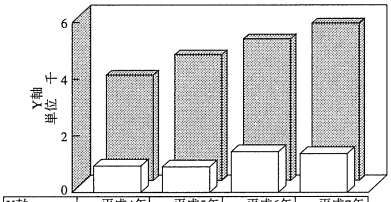
HINES 及び電話回線経由の蔵書検索利用統計

利 用 日 数	359日
接 続 回 数	31,959回
接 続 時 間	6,444時間11分03秒

図書館相互協力統計

＊「図書館相互協力」とは，ひとつの図書館では応じきれない要求を，他の図書館が所蔵する資料の複写や借用によって補うサービスです。北大では７年度も「受付」が「依頼」を大きく超えました。

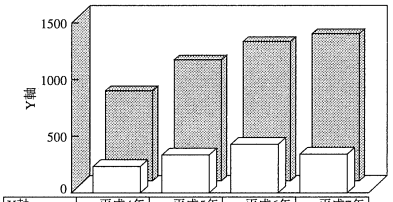
文献複写件数（相互利用掛）



X軸	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
複写依頼	933	905	1,437	4,365
複写受付	3,719	4,438	4,994	5,547

＊部局依頼分も含め，相互利用掛で取り扱った件数。

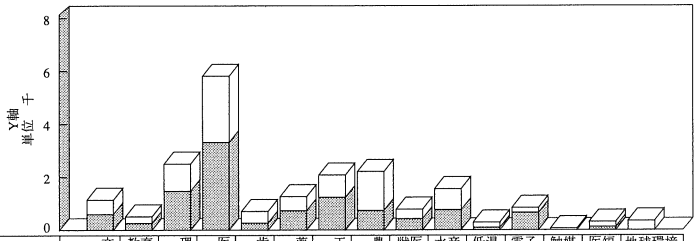
現物貸借冊数（相互利用掛）



X軸	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
現物借用	233	335	429	342
現物貸出	796	1,069	1,231	1,300

＊部局依頼分も含め，相互利用掛で取り扱った冊数。

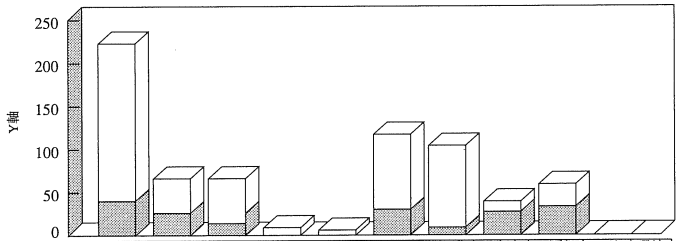
部局別文献複写件数



X軸	文	教育	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	低温	電子	触媒	医短	地球環境
▨複写依頼	601	262	1,471	3,315	266	731	1,236	738	424	763	92	659	67	123	348
□複写受付	540	247	1,027	2,497	440	534	843	1,472	362	792	195	180	0	188	0

＊部局図書室が独自に取り扱った件数。取り扱いのあった部局のみ。

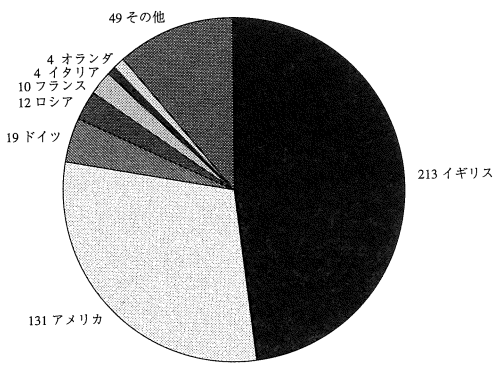
部局別現物貸借冊数



X軸	文	理	医	歯	薬	工	農	水産	医短	地球環境
▨複写依頼	40	26	14	0	0	30	9	27	33	0
□複写受付	183	40	52	9	6	87	95	12	26	0

＊部局図書室が独自に取り扱った冊数。取り扱いのあった部局のみ。

海外への協力依頼件数



＊参考調査掛から海外へ文献複写，現物貸借を依頼した件数。

複写業務実績

	電子複写	ﾏｲｸﾛﾘｰﾀﾞ	総　数	申込件数	複写論文数
学内	2,240	238	2,478	379	421
学外	54,276	1,874	56,150	3,640	5,126
合計	56,516	2,112	58,628	4,019	5,547

＊相互利用掛での職員を介しての処理数。
コピーカードでの複写は含まれていない。

貸出頻度順リスト（本館・開架閲覧室）

順位	書　　名	著者・編者等	出　版　社	回数	冊数
1	総則・物件総論	内田　　貴	東京大学出版会	40	3
2	生化学・第5版	E. E. Conn　ほか	東京化学同人	30	4
3	生化学　改訂3版	Lubert Stryer	バイオメディクス	28	3
4	小生理学	広重　　力，加藤　正道	南山堂	27	4
4	債権各論	藤原　康宏　ほか	有斐閣	27	2
4	事務管理・不当利益・不法行為	星野　英一　ほか	有斐閣	27	3
7	詳解力学演習	後藤　憲一　ほか	共立出版	25	4
8	大学演習熱学・統計力学	久保　亮吾	裳華房	23	3
9	生化学	Lubert Stryer	東京化学同人	22	6
9	物理のための数学	和達　三樹	岩波書店	22	3
9	アルジャーノンに花束を	Daniel Keyes	早川書房	22	1
12	教材憲法判例　第3版	中村　睦男　ほか	北海道大学図書刊行会	21	1
12	ジェンターと歴史学	John W Scott	平凡社	21	1
12	古代エジプトの遺産	仁田　三夫	ぎょうせい	21	1
15	1848年の女性群像	加藤　節子	法政大学出版局	20	1
15	遺伝子の分子生物学　第4版	James D. Watson	トッパン	20	3
17	不法行為	四宮　和夫	青林書院	19	3
17	ミクロ経済学	西村　和雄	東洋経済新報社	19	2
17	ぼくは勉強ができない	山田　詠美	新潮社	19	1
17	ねじまき鳥クロニクル　第1部	村上　春樹	新潮社	19	1
17	アムリタ　上	吉本ばなな	新潮社	19	1
17	純粋理性批判　上	Kant	理想社	19	1
17	社会的世界の意味構成	Alfred Schutz	木鐸社	19	1
24	ランジュバン方程式	堀　　淳一	岩波書店	18	1
24	X線回折要論	Cullity	アグネ	18	4
24	アムリタ　下	吉本ばなな	新潮社	18	1
24	かんがえる人	原田　宗典	光文社	18	1
24	量子力学	原　　康夫	岩波書店	18	1
24	不法行為法講義	森島　昭夫	有斐閣	18	1
24	個体のバンド理論	Neil W. Ashcroft	吉岡書店	18	2
24	西洋哲学史　3：近代	J. Hirschberger	理想社	18	1
32	ファザーファッカー	内田　春菊	文芸春秋	17	1
32	分子生物学の基礎　第2版	David Freifelder	東京化学同人	17	1
32	ブルードンと現代	藤田勝次郎	世界書院	17	1
32	遺書	松本　人志	朝日新聞社	17	1
32	タンパク質の分離・分析法	泉　　美治　ほか	化学同人	17	3
32	Dynamic light scattering	Robert Pecora	Plenum	17	1
32	不法行為法	前田　達明	青林書院新社	17	1
39	会社法　1　改訂版	LEC東京リーガルマインド	LEC東京リーガルマインド	16	1
39	憲法	芦部　信喜	岩波書店	16	1
39	気分はだぼだぼソース	椎名　　誠	新潮社	16	1
39	返事はいらない	宮部みゆき	新潮社	16	1
39	会社法　2　改訂版	LEC東京リーガルマインド	LEC東京リーガルマインド	16	1
39	マディソン郡の橋	Robert J. Waller	文芸春秋	16	1
39	電子回路を学ぶ人のために	雨宮　好文	オーム社	16	2
39	五番目のサリー	Daniel Keyes	早川書房	16	1
39	分子生物学の基礎	David Freifelder	東京化学同人	16	1
39	民事訴訟法　第2版補正版	新堂　幸司	弘文堂	16	1
49	ライ麦畑でつかまえて	J. D. Salinger	白水社	15	1
49	外接現代政治の理論	阿部　　斉	東京大学出版会	15	1

貸出頻度順リスト（北分館・開架閲覧室）

順位	書　　名	著者・編者等	出　版　社	回数	冊数
1	分析化学　改訂版	長島　弘三，富田　　功	裳華房	133	11
2	大学の基礎科学	喜多　秀明，市川　和彦	学術図書出版会	119	10
3	演習微分積分	寺田　文行	サイエンス社	101	17
4	電場と磁場	長岡　洋介	岩波書店	98	12
5	基礎物理化学　上	Walter J. Moore	東京化学同人	91	12
6	ギリシアとエーゲ海の島々	地球の歩き方編集室	ダイヤモンド・ビッグ社	90	1
7	例解　熱・統計力学演習	戸田　盛和，市村　　純	岩波書店	80	6
8	微分積分学：詳解演習	塹江　誠夫　ほか	培風館	78	9
9	細胞の分子生物学	Bruce Alberts　ほか	教育社	75	1
10	有機化学　中　第6版	Robert T. Morrison　ほか	東京化学同人	67	8
10	物理のための数学	和達　三樹	岩波書店	67	9
12	基礎物理化学　下	Walter J. Moore	東京化学同人	64	12
13	分析化学実験　新訂増補版	日本分析化学北海道支部	化学同人	63	12
13	熱・統計力学	戸田　盛和	岩波書店	63	10
13	近代経済学	新開　陽一　ほか	有斐閣	63	16
16	大学演習熱学・統計力学	久保　亮吾	裳華房	62	7
17	有機化学実験	L. S. Fieser　ほか	丸善	61	10
17	例解電磁気学演習	長岡　洋介，丹度　勝市	岩波書店	61	6
19	細胞の分子生物学　第3版	Bruce Alberts　ほか	教育社	60	8
20	実験有機合成化学	右田　俊彦	裳華房	58	10
21	分子細胞生物学　第2版	James E. Darnell	東京化学同人	57	10
22	配位化学	F. Basolo，R. Johnson	化学同人	55	9
23	積分学コンパニオン	外岡慶之介	学術図書出版社	54	11
24	分子細胞生物学　第2版	James E. Darnell	東京化学同人	53	10
25	基礎無機化学	F. A. Cotton	培風館	51	9
25	例解　物理数学演習	和達　三樹	岩波書店	51	10
27	発生生物学	Scott F. Gilbert	トッパン	50	8
28	図説生化学　第2版	石倉　久之　ほか	丸善	49	5
28	遺伝子の分子生物学　第4版	James D. Watson　ほか	トッパン	49	8
30	分析化学	太秦　康光	産業図書	48	6
30	電磁気　上　第2版	Edward M. Purcell	丸善	48	10
32	電磁気学演習	永田　一清，栗野　　満	朝倉書店	47	5
33	力学	戸田　盛和	岩波書店	45	5
34	有機化学　上	Robert T. Morrison　ほか	東京化学同人	44	8
35	例解力学演習	戸田　盛和，渡辺　慎介	岩波書店	42	7
36	電磁気学演習	若桑　光雄	昭昇堂	41	5
36	定性分析化学　上	高木　誠司	南江堂	41	8
36	発生生物学　上	Scott F. Gilbert	トッパン	41	8
36	パーロー物理化学問題の解き方	藤代　亮一	東京化学同人	41	11
36	解析力学	小出昭一郎	岩波書店	41	4
41	詳解物理学演習　下	後藤　憲一　ほか	共立出版	40	6
41	ワトソン・組み替えDNAの分子生物　第2版	James D. Watson	丸善	40	8
41	がんの治療	小林　　博	岩波書店	40	13
41	基礎有機化学	Harold Hart	培風館	40	6
41	分析化学反応の基礎　改訂版	日本分析学会北海道支部東北支部	培風館	40	8
46	例解量子力学演習	中嶋　貞雄，吉岡大二郎	岩波書店	39	6
46	量子力学の冒険	トランスナショナルカレッジオブレックス	言語交流研究所ヒッポFC	39	5
46	定性分析化学　中	高木　誠司	南江堂	39	8
46	メイアン大学の化学　1　第2版	Bruce H. Mahan	廣川書店	39	12
46	化学反応の速度と平衡	佐藤　　弦，玉虫　玲太	裳華堂	39	4

学術情報センターセミナーについて

情報システム課目録情報掛　　鵜　澤　和　往

平成7年度学術情報センターセミナーが，平成7年11月6日から平成8年3月15日までの約5カ月間開催された。セミナーの研修生は，京都大学から忽那一代（くつな　かずよ）さん，鹿児島大学から堀口裕著(ほりぐち　ひろあき)さん，そして私の3人であった。今回のセミナーは，昭和61年度以来の開催であり，「試行的」に実施された。

セミナー員室は，学術情報センターの本館1階，研修課長室の隣の旧小会議室である。我々研修員がお世話になる研修課の事務室にも近く，コピー機のある事務機器室や図書室にも近い，良い部屋であった。ここで，机，椅子，端末（Xステーション）を一人一台与えられ，研修中は朝9：00から夕方17：00までこの部屋で過ごすこととなる。

セミナーは,大きく前期と後期に分けられる。前期は講義とワークステーション実習が中心である。

受けた講義は必ずレポートを書かなければならなかった。レポートの内容は，課題が決められていればその課題について，課題が無い場合は講義の内容をまとめて，提出することになっていた。提出は電子メールで，と先生に指定された講義もあった。講義のレポートの他に週間レポートの提出も義務づけられていた。

講義のレポートおよび研修レポートの作成には，研修課長室にあるワークステーションに接続されたXステーションを使う。ワークステーションやUNIXに慣れることが研修の目的の一つだからである。橋爪先生，杉本先生によるワークステーション実習では，基本的なUNIXシステムおよびUNIXのコマンドの説明，ブラインドタッチの修得から，ワープロ代わりのエディター（mule）の使い方，電子メールの使い方，LaTeXを使った文書の整形の方法など基本的なUNIXの使い方を教わり，一通りのレポート作成のための作業をUNIXワークステーションでできるようになった。また，ワークステーション実習の一つとして，使っていないハードディスクを借りて，自分達でケーブルのコネクタを作成して接続したこともあった。研修課題のデータを保存するハードディスクの容量が途中で足らなくなったためである。

講義は，前期の前半までは週2～3回の，後半は週1回のペースで行われた。講師は学術情報センターの先生方と，外部の4名の先生方だった。

講義の内容は，以下の通りである（講義順)。景浦先生：「図書館情報学の現状と課題」，内藤先生：「論文の電子投稿と学術情報システム」，宮澤先生：「目録所在情報サービスの今後の展開」「文字コード概論」，小野先生：「学術情報流通の国際化」，安達先生：「電子図書館システムの今後の展開」，浅野先生：「ネットワークシステムの今後の展開」，越塚先生：「新NACSIS-IRの展開」，根岸先生：「学術研究動向の計量的把握」，國井先生(リコー)：「これからの図書館情報システムとDBMS」，石井先生(図書館情報大学)：「大学図書館サービスの今後の展開」，吉田先生（横浜国立大学）：「『電子図書館』構想と著作権法上の問題点について」。また，その他に，日本科学技術情報センターの見学もあり，実際の抄録作成の現場を見ることができた。

大部分の講義は，セミナー研修生だけで受講したが，いくつかは，「平成7年度総合目録データベース実務研修会（第2回)」と重なったため

研修生の方々と一緒に講義を受けることができ，少しは解放された気分になった。

学術情報・資料の電子化・ネットワーク化・国際化への図書館の対応というのが講義の中心となるテーマであった様に思う。学術情報センターの内藤先生や図書館情報大学の石井先生のように，資料の電子化に伴う流通形態の変化によって，図書館の存在意義が薄れることへの危機感から，図書館が積極的に学術情報の流通に参加することの必要性を講義で話された先生もいらっしゃった。また，センターの安達先生のように，電子図書館という新しい機能で対応する方法もあり，対応の方法も講師の先生によって様々であり，図書館の変革期，変化の過渡期にあることが改めて実感させられた。

後期は「個別研究」として各個人の研修レポートの作成が研修の中心となった。

また，「個別研究」だけでなく，図書館情報大学で開かれたディジタル図書館のワークショップに堀口さんと参加することができた。ワークショップの内容は，かなり専門的な内容が多く，理解できないことの方が多かった。しかし，鹿児島大学の堀口さんのおかげで，筑波大学の大庭さん，データベース実務研修会に来ていた図書館情報大学の上原さん，筑波技術短期大学聴覚部の図書室の土屋さんを紹介していただくことができ，また，筑波大学や図書館情報大学の図書館を案内していただき，非常に有意義に過ごすことができた。

研修員それぞれの研修課題は，忽那：「目録システムと外字管理」，堀口：「OPACのための主題検索支援シソーラス」，鵜澤：「インターネット向け画面型検索インターフェースの設計」である。「学術情報センターニュース」（第35号）でも紹介されているが，以下に簡単に紹介する。

忽那さんのレポートは，学術情報センターの目録システム中の外字を丹念に分析し，その分析結果から，外字管理の問題点や新しい文字コードとしてJISX 0221を採用された場合の影響について述べたものである。

堀口さんのレポートは，目録データ中の件名と書名の単語を切り出して，関連の深い件名中の単語と書名中の単語をリストにして，OPACの検索の支援用のシソーラスの作成とその評価について書かれている。

私のレポートは，Javaというプログラミング言語を使用して，インターネット上で提供されている検索インターフェースを設計することを試みたが，結果として，試みで終わってしまい，完成までは至らなかった。この研修テーマの実現の手段として使った，Javaはアメリカ合衆国のSun Microsystems社によって1995年5月に発表された，オブジェクト指向のプログラミング言語である。

冒頭にも書いたが，約5カ月という，振り返ればやはり長い研修であった。だが，日常業務から開放され，よい講義を聴け，研修テーマだけに集中できるという，またとない贅沢な貴重な時間であった，と思える。日頃の勉強不足のため，気持ちばかりが焦り，この時間を有意義に使えなかったことが，今となっては残念に思われてならない。

最後になりましたが，このような研修の機会を与えてくださった職場の上司の方々および同僚の皆さん，また，研修中大変お世話になった研修課をはじめとする学術情報センターの職員の皆さん，個別研究の指導をしてくださった橋爪先生をはじめ，センターの先生方，また見学先で案内をしてくださった皆さんに，この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

お知らせ

第2期遡及入力事業5か年計画が達成されました

経緯及び概要

北大の遡及入力事業は，北大図書館システム導入の翌年に当たる昭和62年度から，当時システム的にも唯一大量オンライン入力が可能な図書館として，学術情報センターの協力のもとに第1期遡及入力事業を開始し，4年間で約52万件を登録しました。これによって，北大の利用者には図書館の新しいサービスを充実した内容で提供を開始し，今日の北大OPACの基盤を整備することが出来ました。

併せて，当時，草創期でデータ量が少なかった学術情報センターの全国総合目録の充実に多大な貢献をし，その後の目録システムの飛躍的な発展にも，推進力として大きく寄与しました。現在，全国総合目録システムへの参加機関が450余を数え，その所蔵データは2,200万件を超えるに至り，1日に2.6万冊の所蔵登録がされている状況を見るとき，今昔の感があります。

平成3年度からは，学術情報センターの協力の後を受けて全学的支援体制が取られ，全国に類を見ない大量オンライン入力による第2期遡及入力事業を開始することが出来ました。事業は5年間で約15万冊を登録し平成8年3月に所期の目標をほぼ達成し終了しました。

この間，遡及入力事業にご理解とご支援を頂いた学内関係各位はじめ実際の入力に携わった方々に対し改めて深く感謝申し上げる次第です。

現在，北大の全蔵書数は310万冊を超えました。その内データベース登録は160万冊に達し，データ入力率は51%を超えております。雑誌については，全タイトル毎の所蔵巻号情報が既に入力されていますので，未入力製本雑誌約54万冊分を計算にいれますと，214万冊相当の目録データ（全蔵書の約7割）がオンラインで検索可能となり，大規模大学では類を見ないデータ入力率となっております。

これらの成果は，単に北大蔵書データベースの充実に留まらず全国総合目録データベースの構築に寄与し，資源共有理念の推進として図書館間における一層の相互利用の促進に貢献することになります。また，WWWによるインターネット上でのOPACを既に公開しており，広く全世界からの蔵書検索を可能としております。残る96万冊の図書データを入力すると蔵書の100%がデータベース化される訳ですが，このペースで遡及入力事業を進めても30余年の長い歳月と莫大な経費を要する事となります。図書館では，5年を一つの区切りとし計画の見直し，入力方法の改善等を図りながら，全蔵書の悉皆入力を最終目標として今後も遡及入力事業を継続していくこととなり，平成8年4月からも同じく学内の支援を得て第3期遡及入力事業5カ年計画に着手しております。

皆様のご期待に添えるよう一層の努力をしたいと思いますので，関係各位のご支援，ご協力のほど宜しくお願いいたします。

第2期遡及入力事業第5年次（平成7年度）入力冊数

部　局	和書入力冊数	洋書入力冊数	入力冊数合計
図書館本館	2,395	8,186	10,581
北分館	4,645	4,767	9,412
教育学部	2,082	0	2,082
歯学部	940	410	1,350
農学部	972	968	1,940
獣医学部	128	106	234
水産学部	1,340	171	1,511
電子研	222	949	1,171
スラ研	642	647	1,289
合　計	13,366	16,204	29,570

第2期遡及入力事業5か年計画　部局別，年度別　総入力冊数

部　局		平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	計	合　計
附属図書館	和	3,561	4,524	5,043	8,845	2,386	24,359	
	洋	6,098	4,269	4,690	922	1,717	17,766	42,125
（法学部）	和	附属図書館に含まれる	附属図書館に含まれる	2,338	0	9	2,347	
	洋			4,881	7,572	6,469	18,922	21,269
北分館	和	310	6,060	2,296	3,819	4,645	17,130	
	洋	24	189	837	3,026	4,767	8,843	25,973
文学部	和	70	1	538	358	0	967	
	洋	105	69	1,018	0	0	1,192	2,159
教育学部	和	0	0	0	2,103	2,082	4,185	
	洋	0	0	0	0	0	0	4,185
経済学部	和	197	567	1,501	231	0	2,496	
	洋	1,817	3,208	901	1,929	0	7,855	10,351
理学部	和	0	173	0	0	0	173	
	洋	0	2,147	10	0	0	2,157	2,330
医学部	和	999	273	127	0	0	1,399	
	洋	0	1,103	2,113	2,617	0	5,833	7,232
歯学部	和	0	0	0	0	940	940	
	洋	0	0	0	0	410	410	1,350
薬学部	和	0	973	0	562	0	1,535	
	洋	0	226	0	371	0	597	2,132
工学部	和	6,072	0	0	0	0	6,072	
	洋	0	1,882	0	0	0	1,882	7,954
農学部	和	796	192	1,483	1,665	972	5,108	
	洋	600	645	0	0	968	2,213	7,321
獣医学部	和	761	0	0	175	128	1,064	
	洋	1,177	613	0	374	106	2,270	3,334
水産学部	和	0	0	0	0	1,340	1,340	
	洋	0	0	0	0	171	171	1,511
電子研	和	0	293	0	0	222	515	
	洋	0	487	0	0	949	1,436	1,951
触媒化学研	和	0	0	219	0	0	219	
	洋	0	0	615	0	0	615	834
スラブ研	和	0	0	0	0	642	642	
	洋	0	799	1,024	0	647	2,470	3,112
医療短大	和	0	517	1,559	1,120	0	3,196	
	洋	0	224	31	76	0	331	3,527
合　計	和	12,766	13,573	15,104	18,878	13,366	73,687	
	洋	9,821	15,861	16,120	16,957	16,204	74,963	総入力冊数
	計	22,587	29,434	31,224	35,835	29,570	148,650	148,650

第3期遡及入力事業5か年計画がスタートしました

第2期遡及入力事業の成果の後をうけて，平成8年度から引き続き全学的支援体制の下に第3期遡及入力事業5カ年計画を発足させ，本年4月から事業を開始しました。

計画の骨子としては，ほぼ第2期事業の方針を踏襲し，DB未登録図書約96万冊のうち，全学的利用頻度，入力効率，遡及データの必要度を考慮し，附属図書館および人文・社会系部局の図書資料の中から約10万冊，自然系部局の図書資料約5万冊，合計約15万冊を第3期計画の入力対象とします。



第1年次に当たる今年度は，入力要員の教育・研修期間，オリジナル入力の増加等を考慮し，以下の入力予定とします。

第3期遡及入力事業第1年次（平成8年度）の入力予定

入力予定：22,000冊

1）附属図書館所蔵図書　　11,400冊
2）人文・社会系部局所蔵図書　6,500冊
3）自然系部局所蔵図書　　4,100冊

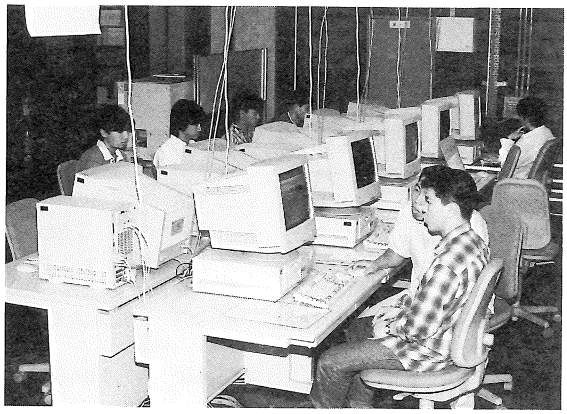
総合情報ターミナルコーナーがオープンしました

去る7月1日より，附属図書館本館及び北分館に総合情報ターミナルコーナーが開設され，好評を博しています。

このコーナーでは，ブラウザソフト（Netscape Navigator）を使って図書館ホームページからインターネット情報にアクセスでき，入手した情報をフロッピーディスクに保存して持ち帰ることもできます。

設置場所（利用時間）

本　館：2階参考閲覧室（平日9:00～17:00）
北分館：2階開架閲覧室（平日9:00～19:45）
　　授業の休業期間中は9:00～16:45。



ご利用に際しては，以下のルールをお守り下さい。

・他の利用者の迷惑になる行為は絶対にしないで下さい。
・長時間に渡り占有しないで下さい。
　1時間を目安に考えて下さい。ただし，他に利用する方がいない場合は継続利用して結構です。
・ハードディスクに個人が利用した情報を残さないで下さい。
・個人所有のソフトを持ち込まないで下さい。
・システムの設定を変更しないで下さい。
・インストールされているソフトは著作権上保護されています。違法コピーは絶対にしないで下さい。

コーナー利用に関してのご質問は

本　館：参考調査掛　　(内線2973)
北分館：情報サービス掛(内線5575)へ…

北方データベースがNACSIS-IRで公開

平成5年度より科学研究費補助金研究成果公開促進費（データベース）の交付を受けて作成してきた「北海道大学北方資料総合目録データベース」がこの6月1日から学術情報センターのNACSIS-IRのデータベースとして，サービスが開始されました。サービスの概要は以下のとおりです。

1　内　　容　北海道大学附属図書館北方資料室で収集・所蔵する北方研究に関する文献（北海道・ロシア極東等の北方地域に関する歴史学・地理学・人類学・民族学・言語学）の目録情報（標題・著者名・刊年・収載目録名・所蔵館名・解題・注釈等）を収録。

2　データ件数　43,800件

3　呼び出しコマンド　HOPPO

4　料　　金　30円／回

5　サービス範囲　国内研究者はもとより海外及びNACSIS-IRの拡大利用者（学会の正会員，JOISユーザ）へのサービス可能

6　対応出版物「日本北辺関係旧記目録」
「明治大正期北海道写真目録」
「開拓使外国人関係書簡目録」
「北海道関係地図・図類目録」
「旧外地関係資料目録」

NACSIS-IRは学術情報センターが提供する情報検索サービスで，国内外の研究者の論文，会議発表等研究成果の中から自分の求めるものを探すことが出来ます。6月1日現在で「北海道大学北方資料総合目録データベース」も含め全部で53種のデータベースが収録されています。

〈画面例1：Welcome画面〉

```
WELCOME TO NACSIS-IR “HOPPO” DATABASE.(REL.960501)
COPYRIGHT: HOKKAIDO UNIVERSITY LIBRARY
THIS DATABASE CONTAINS 43800 RECORDS.
FOR FURTHER INFORMATION, ENTER ?HELP SUBCOMMAND.
TYPE IN COMMAND
    1/
```

〈画面例2：詳細表示画面〉

```
(1)
CNTN : 0A02384000 CREC：0000
CITN  : 日本北辺関係旧記目録 LOC：北大北方資料室 CLN：旧記507
TITL1 : 東蝦夷地名考
TITY1 : ヒガシエゾ チメイコウ
AUTH1: 秦檍丸（村上島之允）撰
AUTY1: ハタ アオキマロ（ムラカミ シマノジョウ）
AUTH2: 中村意積 校合
AUTY2: ナカムラ オキツム
YEARJ: 文化5  YEAR：1808
PHYS  : 自筆本 23丁 26.5 cm
CW     : 山越内よりノサップ岬までの東蝦夷地のアイヌ語地名の意味を考案したもの。
         六葉の彩色画を含む。活字翻刻本：『アイヌ語地名資料集成』（草風館）
CONT  : アイヌ民族／アイヌ語地名解
CNTY : アイヌ ミンゾク アイヌゴ チメイカイ
KYWD1: アイヌ／民族／アイヌ語／地名解／東蝦夷／地名考
KYWD2: 奏／檍丸／村上／島之允／中村／意積
```

図書館委員会委員名簿

平成８年７月１日現在

部局	官職	氏名	任期
	館長	吉田　宏	平成8．4．1～平成 9．3.31
	分館長	杉山滋郎	平成7．4．1～平成 9．3.31
	事務局長	沖吉和祐	平成8．7．1～
文学部	教授	津田芳郎	平成8．4．1～平成10．3.31
教育学部	〃	竹田正直	平成8．4．1～平成10．3.31
法学部	〃	吉田克己	平成8．4．1～平成10．3.31
経済学部	助教授	岡部洋實	平成8．1．1～平成 9.12.31
大学院理学研究科	教授	増田道夫	平成7．4．1～平成 9．3.31
医学部	〃	阿部和厚	平成8．4．1～平成10．3.31
歯学部	〃	小口春久	平成8．4．1～平成10．3.31
薬学部	助教授	周東　智	平成8．4．1～平成10．3.31
工学部	教授	伊藤精彦	平成7.10．1～平成 9．9.30
農学部	〃	寺尾日出男	平成7．4．1～平成 9．3.31
大学院獣医学研究科	助教授	葉原芳昭	平成7．4．1～平成 9．3.31
水産学部	教授	太田　亨	平成8．5．1～平成10．4.30
言語文化部	助教授	西　昌樹	平成8．5．1～平成10．4.30
大学院地球環境科学研究科	教授	西　則雄	平成7．5.28～平成 9．5.27
低温科学研究所	〃	芦田正明	平成7．4．1～平成 9．3.31
電子科学研究所	〃	田村　守	平成6.10．1～平成 8．9.30
免疫科学研究所	〃	上出利光	平成8．4．1～平成10．3.31
医学部附属病院	〃	松田英彦	平成6．9.16～平成 8．9.15
触媒化学研究センター	〃	岩本正和	平成7．4．1～平成 9．3.31
スラブ研究センター	〃	原　暉之	平成7．4．1～平成 9．3.31
医療技術短期大学部	〃	長坂行雄	平成7．4．1～平成 9．3.31

北分館委員会委員

平成８年７月１日現在

部局	官職	氏名	任期
	分館長	杉山滋郎	平成7．4．1～平成 9．3.31
文学部	教授	津田芳郎	平成8．4．1～平成10．3.31
言語文化部	助教授	西　昌樹	平成8．5．1～平成10．4.30
法学部	教授	吉田克己	平成8．4．1～平成10．3.31
大学院理学研究科	〃	増田道夫	平成7．4．1～平成 9．3.31
工学部	〃	伊藤精彦	平成7.10．1～平成 9．9.30
医学部	〃	阿部和厚	平成8．4．1～平成10．3.31

会議（8.4.1～8.7.31）

【学　外】

○第28回国立大学図書館協議会北海道地区協議会

〈平成8年4月25日㈭〉

当番校：小樽商科大学

協 議 題

・電子図書館へのシフトについて

・ILLサービスの円滑な展開について

・地域における館種を超えた図書館の相互協力について

・第43回国立大学図書館協議会総会について

・次期当番校について

報告事項

・北海道大学図書館講演会について

・平成8年度学術情報システム地域講習会の開催について

［出席者：図書館長　吉田宏，事務部長　三上洋由，情報管理課長　東海安興，情報サービス課長　内藤英雄，情報システム課長　清水二郎］

○国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会

〈平成8年5月13日㈪〉

場所：学術情報センター

議　　題

・今後の事業計画について

［出席者：事務部長　三上洋由，情報システム課長　清水二郎］

○平成8年度国立大学附属図書館事務部課長会議

〈平成8年5月28日㈫〉

場所：東京医科歯科大学

議　　題

・大学図書館の当面する諸問題について

［出席者：事務部長　三上洋由，情報管理課長　東海安興，情報サービス課長　内藤英雄］

○国立大学図書館協議会常務理事会

〈平成8年5月29日㈬〉

場所：東京大学

［出席者：図書館長　吉田宏，事務部長　三上洋由，情報管理課長　東海安興，情報サービス課長　内藤英雄］

○国立大学図書館協議会理事会

〈平成8年5月30日㈭〉

場所：東京大学

［出席者：図書館長　吉田宏，事務部長　三上洋由，情報管理課長　東海安興，情報サービス課長　内藤英雄］

○第43回国立大学図書館協議会総会

〈平成8年7月3日㈬～7月4日㈭〉

当番校：横浜国立大学

議　　題

［出席者：図書館長　吉田宏，事務部長　三上洋由，情報サービス課長　内藤英雄，情報システム課長　清水二郎］

【学　内】

○第163回図書館委員会

〈平成8年6月7日㈮〉

議　　題

・CAonCDの導入について

・北海道大学附属図書館規程（案）について

報告事項

・平成9年度歳出概算要求事項について

・平成8年度図書資料（大型コレクション）収書計画について

・平成8年度自然科学系図書資料収書計画について

・遡及入力事業報告について

○第164回図書館委員会

〈平成8年7月15日㈪〉

議　　題

・北海道大学附属図書館規程（案）について

・北海道大学附属図書館北分館規程（案）について

・北海道大学図書館委員会規程の改正（案）について

・平成7年度決算及び平成8年度予算配当（案）

について

報告事項

・北海道大学創基120周年記念事業に際しての図書館の取り組みについて
・国立大学図書館協議会公開事業について
・平成8年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」(北方関係資料総合データベース)の交付内定について
・外部データベース検索サービスシステムの運用状況について
・第43回国立大学図書館協議会総会について

研修・講習会等(8.4.1～8.7.31)

○北海道大学附属図書館情報システム新任担当者実務研修(場所：附属図書館)

① 端末基本操作研修
4月8日(月) 9：00～16：00
受講者：18名 担当：情報処理掛

② 雑誌管理システム研修
4月15日(月)～17日(水) 9：00～16：30
受講者：10名 担当：学術情報掛

③ 目録管理システム研修
4月22日(月)～24日(水) 9：00～16：30
受講者：9名 担当：目録情報掛

④ 検索・閲覧システム研修
4月9日(火) 9：00～16：00
受講者：23名 担当：資料サービス掛

⑤ 図書管理システム研修
4月10日(水) 9：00～16：30
受講者：13名 担当：図書受入掛

⑥ ILL管理システム研修
4月11日(木)～12日(金) 9：00～16：30
受講者：8名 担当：相互利用掛

○情報システム統一研修(平成8年度第1/4四半期)
[平成8年5月14日(火)～23日(木)]
(主催：総務庁，場所：九段合同庁舎)
受講者：菅原英一(情報システム課情報処理掛長)

○第17回EDCセミナー
[平成8年5月30日(木)～31日(金)]
(主催：琉球大学附属図書館)
受講者：片山俊治(情報サービス課参考調査掛長)

○平成8年度ILLシステム講習会(第1回)
[平成8年6月4日(火)～5日(水)]
(場所，主催：学術情報センター)
受講者：金子和恵(情報サービス課相互利用掛長)

○平成8年度大学図書館職員長期研修
[平成8年7月15日(月)～8月2日(金)]
(場所：国立オリンピック記念青少年総合センター等，主催：文部省)
受講者：吉田恭子(情報管理課図書受入掛)

人　事　往　来

平成８年４月１日付け異動

□**採　　用**

一重　晶子　（工学部総務課図書閲覧掛）

□**併任・配置換等**

吉田　　宏　附属図書館長（９．３．31まで）（北海道大学工学部教授）
三上　洋由　附属図書館事務部長（弘前大学附属図書館事務部長）
東海　安興　附属図書館情報管理課長（岡山大学附属図書館情報管理課長）
木村　恵一　附属図書館情報管理課課長補佐（医学部事務長補佐）
小野　　宏　附属図書館情報管理課専門職員（附属図書館情報管理課会計掛長）
安田　正之　附属図書館情報管理課会計掛長（理学部用度掛長）
片山　俊治　附属図書館情報サービス課参考調査掛長（小樽商科大学附属図書館整理係長）
金子　和恵　附属図書館情報サービス課相互利用掛長（旭川工業高等専門学校庶務課図書係長）
東　　重俊　附属図書館情報サービス課北分館情報サービス掛長（歯学部総務課図書掛長）
高崎　仁雄　附属図書館情報システム課学術情報掛長（小樽商科大学附属図書館運用係長）
菅原　英一　附属図書館情報システム課情報処理掛長(附属図書館情報システム課学術情報掛長)
関根　正宏　文学部図書掛長（医学部図書整理掛長）
春名　克彦　教育学部図書掛長（北見工業大学附属図書館運用係長）
新岡　　弘　医学部図書整理掛長（教育学部図書掛長）
羽川　　明　医学部図書閲覧掛長（附属図書館情報サービス課相互利用掛長）
佐口　英二　歯学部総務課図書掛長（室蘭工業大学附属図書館学術情報係長）
櫻庭　恒彌　工学部総務課図書整理掛長（附属図書館情報サービス課参考調査掛長）
武井　好一　工学部総務課図書閲覧掛長（農学部図書整理掛長）
堅田　政孝　農学部図書整理掛長（文学部図書掛長）
午来　信子　水産学部図書掛長（附属図書館情報管理課図書受入掛）
川端　美明　大学院地球環境科学研究科図書掛長（水産学部図書掛長）
佐藤　洋子　附属図書館情報管理課庶務掛人事主任（経済学部庶務掛庶務主任）
西田久美子　医学部附属病院総務課人事掛任用主任（附属図書館情報管理課庶務掛人事主任）
首藤　佳子　附属図書館情報管理課北分館情報管理掛（工学部総務課図書整理掛）
吉田　恭子　附属図書館情報管理課図書受入掛（経済学部図書掛）
佐藤　　剛　附属図書館情報管理課図書受入掛（歯学部業務課医事掛）
小川　　聡　附属図書館情報管理課北分館情報管理掛（附属図書館情報サービス課北分館情報サービス掛）
梶原　茂寿　附属図書館情報サービス課北分館情報サービス掛（理学部図書掛）
長井　伸一　附属図書館情報サービス課資料サービス掛（文学部図書掛）
高野　直樹　附属図書館情報サービス課資料サービス掛（教育学部図書掛）
佐藤依理子　附属図書館情報サービス課参考調査掛(附属図書館情報サービス課資料サービス掛)

岸本　一志　附属図書館情報システム課学術情報掛（附属図書館情報システム課目録情報掛）
片桐　和子　附属図書館情報システム課目録情報掛（医学部図書整理掛）
小林流美子　附属図書館情報システム課目録情報掛（附属図書館情報システム課学術情報掛）
結城　憲司　文学部図書掛（農学部図書閲覧掛）
石丸　　恵　文学部図書掛（農学部図書整理掛）
久米未希子　経済学部図書掛（工学部総務課図書閲覧掛）
桑野　勇次　理学部図書掛（医学部図書閲覧掛）
田中　道子　医学部図書閲覧掛（低温科学研究所図書掛）
中野真弓美　医学部図書整理掛（附属図書館情報システム課目録情報掛）
吉田　　亘　工学部総務課図書整理掛（附属図書館情報管理課図書受入掛）
阿部千夏子　農学部図書閲覧掛（総務部人事課第一任用掛）
吉竹　　忍　水産学部図書掛（附属図書館情報管理課北分館情報管理掛）
猿橋キヨミ　低温科学研究所図書掛（文学部図書掛）
澤田　浩一　医療技術短期大学部庶務掛（附属図書館情報管理課会計掛）

□**転　　出**

遠藤　勝久　新潟大学学生部次長（附属図書館事務部長）
鳥屋部　順　筑波大学図書館部情報サービス課長（附属図書館情報管理課長）
木下　　彰　鳴門教育大学教務部図書課長（附属図書館情報システム課課長補佐）
佐々木光子　小樽商科大学附属図書館整理係長（附属図書館情報管理課北分館情報管理掛）
山田　　勉　小樽商科大学附属図書館運用係長（理学部図書掛）
福盛田　勉　函館工業高等専門学校庶務課図書係長（水産学部図書掛）
山田　達雄　旭川工業高等専門学校庶務課図書係長(附属図書館情報サービス課資料サービス掛)
田中健太郎　文部省大臣官房調査統計企画課（主任）（附属図書館情報サービス課参考調査掛）

平成 8 年 3 月 31 日付け異動

□**定年退職**

奥川　廣治　附属図書館情報管理課課長補佐
柳田　　實　医学部図書閲覧掛長
星賀　　隆　工学部総務課図書整理掛長
三浦　　智　工学部総務課図書閲覧掛長

北海道大学附属図書館報「**楡蔭**」(ゆいん)　**通号 96 号**
ホームページ：WWW(http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp)
発 行 人　附属図書館事務部長　三上　洋由
編集事務　東海安興・木村恵一・吉田恭子・小川　聡・高野直樹・佐藤依理子・高崎仁雄・鵜澤和往・石丸　恵・菊池健二・中野真弓美・土田健治・平野　知・高塚　恵
発 行 所　北海道大学附属図書館　札幌市北区北 8 条西 5 丁目
TEL 011-706-2967，FAX 011-747-2855
印 刷 所　㈱アイワード